



## 平成23年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年3月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社くらコーポレーション  
コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 南垣内 啓太

TEL 072-368-9401

四半期報告書提出予定日 平成23年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年10月期第1四半期の業績(平成22年11月1日～平成23年1月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第1四半期	18,374	3.4	987	△32.4	1,142	△25.1	462	△47.1
22年10月期第1四半期	17,763	19.4	1,460	115.9	1,525	110.9	874	164.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第1四半期	22.36	—
22年10月期第1四半期	8,452.95	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年10月期第1四半期	28,116	16,841	59.9	813.63
22年10月期	27,566	16,627	60.3	803.27

(参考) 自己資本 23年10月期第1四半期 16,841百万円 22年10月期 16,627百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
23年10月期	—				
23年10月期(予想)		0.00	—	12.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年10月期の業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,359	8.8	2,078	△20.0	2,234	△18.5	1,037	△33.7	50.17
通期	77,285	9.2	4,768	0.4	5,100	1.5	2,622	△7.8	126.68

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年10月期1Q 20,699,800株 22年10月期 20,699,800株

② 期末自己株式数 23年10月期1Q 一株 22年10月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年10月期1Q 20,699,800株 22年10月期1Q 103,499株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 平成22年3月15日付で公表しておりますとおり、平成22年5月1日を効力発生日として普通株式1株につき200株の割合で株式を分割しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(第1四半期累計期間) .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間（平成22年11月1日～平成23年1月31日）におけるわが国経済は、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に企業収益の改善が見られたものの、失業率が高水準にあるなど雇用情勢は引き続き厳しく、海外景気の下振れ懸念、円高・株安やデフレの影響など景気を下押しするリスクが存在しており、先行き不透明感が増す状況が続いております。

外食産業においては、個人消費に持ち直しの動きはあるものの、雇用・所得環境の不安を抱える消費者の生活防衛意識は根強く、外食を手控える傾向に変化はなく、依然として厳しい状況が続いております。

このように取り巻く環境が厳しさを増す中、当社は、安全・安心、安価で美味しいものを求める顧客の消費動向は、当社の掲げる経営理念“食の戦前回帰”にマッチするものであり、むしろ追い風であるとの認識で、顧客来店の動機付けを図る様々な取組みを行ってまいりました。1月には「サーモンフェア」を開催するとともに、九州地区において、地元の五島漁協のご協力を得て、産地直送の新鮮な商品をご提供する「ご当地フェア」を初めて開催し、大好評をいただきました。さらに、平日限定ではありますが、関西地区では「かけうどん」を88円（税込92円）でご提供、関東地区では揚げたて天ぷら4種を100円（税込105円）でご提供させていただきました。そして、1月には全国ネットでのテレビCMをスタートいたしました。創業来の当社の考え方、コンセプトをご紹介し、より一層当社へのご理解を深めていただける内容になっており、今後さらに多くのお客様にご利用いただける効果を発揮するものと考えております。

また、店舗開発につきましては、西日本地区で7店舗、東日本地区で2店舗の計9店舗を新規出店いたしましたので、当第1四半期末の店舗数は、全て直営で269店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高183億74百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益9億87百万円（同32.4%減）、経常利益11億42百万円（同25.1%減）となり、また特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額3億11百万円を計上した結果、四半期純利益は4億62百万円（同47.1%減）となりました。

### （2）財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の資産総額は281億16百万円となり、前事業年度末と比較して5億50百万円の増加となりました。これは、主に新規出店等により積極的に設備投資を行った結果、固定資産が15億21百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、112億74百万円と前事業年度末と比較して3億35百万円の増加となりました。これは、主に未払法人税等が7億99百万円減少した一方で、資産除去債務を8億74百万円計上したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金の増加により168億41百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが7億1百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが9億70百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが4億36百万円の支出となり、この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）残高は、期首より7億5百万円減少し35億64百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は7億1百万円（前年同期比11.7%増）となりました。これは、主に税引前四半期純利益が8億29百万円となり、減価償却費が4億85百万円があったことと、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額が3億11百万円あった一方で、法人税等の支払が11億6百万円あったこと等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は9億70百万円（前年同期比218.6%増）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が6億98百万円、貸付による支出（建設協力金の支出）が1億88百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は4億36百万円(前年同期比27.1%増)となりました。これは、配当金の支払が2億14百万円、リース債務の返済による支出が1億62百万円、長期借入金の返済による支出が60百万円あったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年12月14日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ15百万円減少し、税引前四半期純利益は3億26百万千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による当第1四半期会計期間の期首における資産除去債務額は8億31百万円であり、当第1四半期会計期間末の残高は8億74百万円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,564,740	4,270,739
原材料及び貯蔵品	235,251	325,621
その他	693,969	868,607
流動資産合計	4,493,961	5,464,967
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	9,434,104	8,271,885
その他 (純額)	6,100,424	6,128,926
有形固定資産合計	15,534,528	14,400,811
無形固定資産	720,994	639,479
投資その他の資産		
関係会社株式	97,905	97,905
長期貸付金	3,115,019	2,978,712
差入保証金	3,141,188	3,107,349
その他	1,013,084	877,145
投資その他の資産合計	7,367,197	7,061,112
固定資産合計	23,622,720	22,101,403
資産合計	28,116,681	27,566,371
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,808,978	2,900,831
1年内返済予定の長期借入金	200,000	210,000
未払金	2,423,478	2,275,348
未払法人税等	437,547	1,237,243
その他	1,253,637	1,323,382
流動負債合計	7,123,640	7,946,806
固定負債		
長期借入金	350,000	400,000
リース債務	2,499,506	2,244,435
資産除去債務	874,197	—
その他	427,455	347,668
固定負債合計	4,151,159	2,992,103
負債合計	11,274,800	10,938,910
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	12,502,166	12,287,747
株主資本合計	16,841,881	16,627,461
純資産合計	16,841,881	16,627,461
負債純資産合計	28,116,681	27,566,371

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)
売上高	17,763,869	18,374,022
売上原価	8,337,211	8,569,437
売上総利益	9,426,657	9,804,585
販売費及び一般管理費	7,966,057	8,817,097
営業利益	1,460,600	987,488
営業外収益		
受取利息	14,697	15,084
受取手数料	40,154	55,896
受取保険金	—	46,716
為替差益	—	561
物販収入	27,636	26,000
雑収入	10,245	42,460
営業外収益合計	92,733	186,719
営業外費用		
支払利息	12,739	17,107
為替差損	987	—
物販原価	11,934	11,900
雑損失	2,289	3,038
営業外費用合計	27,950	32,047
経常利益	1,525,382	1,142,161
特別損失		
固定資産除却損	3,065	1,221
店舗閉鎖損失	1,892	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	311,193
特別損失合計	4,957	312,414
税引前四半期純利益	1,520,425	829,746
法人税、住民税及び事業税	589,000	403,000
法人税等調整額	56,552	△36,070
法人税等合計	645,552	366,929
四半期純利益	874,872	462,817

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,520,425	829,746
減価償却費	359,268	485,165
受取利息	△14,697	△15,084
支払利息	12,739	17,107
固定資産除却損	3,065	1,221
店舗閉鎖損失	1,892	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	311,193
たな卸資産の増減額 (△は増加)	28,283	90,369
仕入債務の増減額 (△は減少)	△139,285	△91,852
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△91,946	△57,298
その他	△12,006	253,536
小計	1,667,736	1,824,104
利息及び配当金の受取額	0	245
利息の支払額	△11,667	△16,331
法人税等の支払額	△1,028,423	△1,106,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	627,646	701,322
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△271,066	△698,585
無形固定資産の取得による支出	△5,541	△36,088
貸付けによる支出	△31,916	△188,499
差入保証金の差入による支出	△14,019	△46,602
差入保証金の回収による収入	6,068	17,937
その他	11,880	△18,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△304,596	△970,321
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△60,000	△60,000
リース債務の返済による支出	△68,312	△162,158
配当金の支払額	△215,492	△214,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343,804	△436,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△20,754	△705,998
現金及び現金同等物の期首残高	2,655,084	4,270,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,634,329	3,564,740

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。